

社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会

令和3年度事業報告



# 令和3年度 事業報告

## I. 総括

新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれない中、地域福祉活動における多くの事業が休止・縮小を余儀なくされる状況は継続しましたが、多様な関係機関・団体等との連携のもと、幸せを分かち合おう！共に生きる「福祉のまち伏見」を基本理念とした第4期伏見区地域福祉活動計画の遂行を念頭に、十分な感染予防対策を講じた上で、実施形態に工夫を図りながら、様々な取り組みを行いました。

令和3年度下半期にかけて、学区社協重点プランの実現を推進するために、各学区社協会長・役員を対象とした学区社協活動懇談会を開催しました。懇談会では、コロナ禍における学区社協活動の現状を把握し、地域福祉ニーズや活動上の課題についても、情報収集し、意見交換を行うことができました。さらに、新たに改定された「福祉のまちづくり事業実施要綱」の周知する中で、学区社協重点プランの進捗状況を確認することができました。

また、困難な課題を抱えた地域住民を受け止め、支えるために、本会が実施する個別支援事業に対する支援内容の質的向上を図りました。日常生活自立支援事業では、関係機関等との連携を強化し、判断能力の低下が著しい利用者に対する成年後見制度への円滑な移行促進や、利用者を支える各サービス提供事業者との協働による生活全般の課題解決に向けた支援を展開しました。地域あんしん支援員設置事業では、地域包括支援センター、障害者地域生活支援センターを中心とした事業周知を丁寧に行う中で、相談ケースの開拓や利用者支援に対する協働の推進につながりました。

さらに、多様な団体と連携し、地域を支える仕組みづくりを構築するために、参集型の事業開催が難しいため、オンラインの活用等、実施形態を柔軟に対応し、事業実績を積み重ねることができました。一例として、区内での開設が増加している子どもの居場所づくり事業の運営者を主な対象とした「伏見区子どもの居場所づくり研修交流会」、社会福祉法人の地域公益的活動をテーマとした「地域福祉推進シンポジウム」、地域支え合い活動創出事業やボランティア入門講座等で、オンライン開催や動画配信といったICTの活用が進みました。また、伏見区総合防災訓練に参加する児童に対する防災ポシエット作成や啓発紙芝居等の実施により、幅広い世代へ、災害ボランティアセンターの啓発を行うことができました。

年度の振り返りで明らかになった各事業の課題を分析し、課題解決に向けた取り組みを次年度の事業内容に適切に反映させることで、「地域共生社会」の実現に向けて邁進してまいります。

## II. 重点事業

### 1. 第4期伏見区地域福祉活動計画ならびに学区重点プランに沿った住民主体の地域福祉活動の強化

コロナ禍における学区社協活動の現状や地域課題、活動上の工夫等の情報を収集・整理するために、学区社協会長・役員を対象とした学区社協活動懇談会を開催しました。あわせて、各学区重点プランの進捗状況の確認を行う中で、プラン達成に必要な要件の明確化を行いました。

### 2. 区・学区社会福祉協議会の安定した運営の実現

今年度より改定された「福祉のまちづくり事業実施要綱」について、学区社協活動懇談会の機会を活用し、学区社協会長・役員への丁寧な説明と周知を図ることで、学区社協活動を財政面で支援する助成制度の有効活用に取り組みました。

また、区社協の安定した運営を実現するために、経費節減や支出内容の見直しを徹底することで、収支の健全化を図る取り組みを推し進めました。

### 3. 伏見区地域福祉推進委員会を核とした連携体制の構築

社会福祉法人の地域における公益的な取組について、本会第3号会員を対象としたアンケート調査を実施し、報告書を取りまとめました。地域福祉推進シンポジウムでは、公益的活動の好事例報告や、コロナ禍での活動のあり方について、意見交換し、後日、動画配信することで、幅広い層へ広報することができました。

### 4. 多様な福祉課題の解決に向けた取り組みの実施と充実

地域包括支援センター、障害者地域生活支援センターを中心に、地域あんしん支援員設置事業について、事業周知を行ったことで、相談ケースの増加や、関係機関との連携・協働の促進につながりました。

地域支え合い活動創出事業は、研修会等で、動画配信を積極的に活用する一方で関係機関と連携した事例集やリーフレット、マップを作成・発行し、人とのつながりを重視した取り組みを実施しました。

### 5. 様々な災害に対応した支援活動の推進

伏見区総合防災訓練と連動した区災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催し、有事の際、センターが円滑に設置・運営できるように体制整備を行いました。

さらに、防災訓練参加者に対して、防災ポシエット作成や啓発紙芝居等を実施し、災害ボランティアセンターについて、広く周知することができました。

### Ⅲ. 事業概要

#### 1. 法人運営事業

##### 1) 会務運営事業

###### 〔 成 果 〕

新型コロナウイルスの影響を受け、計画通りに事業執行することが困難な状況もありましたが、社会福祉協議会に求められる役割に対し、組織の特性や機能を十分に発揮して対応できるよう、正副会長会議を中心に、理事会や評議員会、事業推進委員会等において、課題を共有し、役職員一体となって取り組むことができました。

###### 〔 課 題 〕

次年度も感染症の影響が継続することが予想されるため、地域社会が向き合う様々な困難に対して情報収集を進めながら、コロナ禍でも安定して会務運営が継続できるよう対策をとっていくことが必要です。

##### (1) 正副会長会議の開催

開 催 日	内 容
令和3年5月24日	(1)令和3年度 第1回学区社会福祉協議会会長会議について (2)令和3年度 第1回理事会について (3)令和3年度 第1回評議員会について (4)令和3年度 第2回理事会について (5)令和3年度 第1回評議員選任・解任委員会について (6)令和3年度 第1回伏見区地域福祉推進委員会について
令和3年10月21日	(1)令和3年度 伏見区社会福祉協議会会長表彰 表彰式について (2)令和3年度 伏見区社会福祉協議会会長表彰について (3)伏見区社会福祉協議会各委員会 委員委嘱について (4)令和3年度 伏見区地域福祉推進シンポジウム (5)令和3年度 伏見区子どもの居場所づくり研修交流会 (6)学区社協ヒアリングの実施について
令和4年1月21日	(1)令和3年度 第4回 正副会長会議について (2)令和3年度 第3回 理事会について (3)令和3年度 第2回 評議員会について (4)令和3年度 第2回 伏見区地域福祉推進委員会について (5)法人設立30周年記念 第70回伏見区社会福祉大会について
令和4年3月9日	(1)令和3年度 第4回 理事会について (2)令和3年度 第2回 評議員会について (3)令和3年度 第2回 伏見区地域福祉推進委員会について

## (2) 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会の開催

### ①理事会の開催

開催日	内 容
令和3年6月4日 【書面審議】	(1)顧問及び参事の委嘱について (2)理事候補の補充選任について (3)監事候補の選任について (4)評議員候補の選任について (5)評議員選任・解任委員候補者の確認について (6)役員実費弁償に関する規程の改定について (7)評議員実費弁償に関する規程の改定について (8)令和2年度 事業報告(案)ならびに一般会計資金収支決算(案)の承認について (9)評議員会の開催について
令和3年6月22日	(1)会長ならびに副会長の選任について (2)評議員選任・解任委員の選任について
令和4年3月16日 【書面審議】	(1)評議員会の開催について
令和4年3月29日 【書面審議】	(1)令和3年度(第一次)補正予算の承認について (2)令和4年度 事業計画並びに予算の承認について

### ②評議員会の開催

開催日	内 容
令和3年6月22日	(1)理事の選任について (2)監事の選任について (3)役員実費弁償に関する規程の改定について (4)評議員実費弁償に関する規程の改定について (5)令和2年度 事業報告ならびに一般会計資金収支決算(案)の承認について
令和4年3月29日 【書面審議】	(1)令和3年度(第一次)補正予算の承認について (2)令和4年度 事業計画並びに予算の承認について

### ③評議員選任解任委員会の開催

開催日	内 容
令和3年6月22日	(1)評議員の選任について

### (3) 監事会の開催と中間会計監査の実施

開催日	内 容
会計監査 令和3年5月11日	(1)令和2年度 一般会計決算の監査について
本監査 令和3年5月12日	(1)令和2年度 事業ならびに一般会計決算の監査について
中間会計監査 令和4年1月31日	(1)令和3年度 一般会計の中間監査について

### (4) 専門委員会の開催

#### ①事業推進委員会

開催日	内 容
令和4年1月19日 【書面審議】	(1)委員長の選任について (2)今年度の事業実施状況について (3)学区社協活動懇談会実施状況について（中間報告） (4)その他

※組織・財政委員会、ボランティア委員会、生活福祉資金調査委員会については、開催することができませんでした。

### (5) 理事・監事・評議員等を対象とする研修会の開催

#### ①地域福祉推進セミナー（市・区社協役員研修）の共催

開催日	内 容
令和4年1月17日 コロナにより中止	<テーマ> 一人ひとりを認めあう地域社会へ ～私たちが出来ること～ <講師> 奥田 知志 氏（特定非営利活動法人 抱樸 理事長）

### (6) 各世帯および企業への賛助会員募集活動の強化による加入促進

①募集期間：令和3年4月～令和4年3月末

②実績額：13,737,650円

## 2) 企画広報事業

### 〔 成 果 〕

第70回伏見区社会福祉大会は開催を延期しましたが、福祉活動の功績顕著な方々への表彰や、感謝の意を表するため、伏見区社会福祉協議会会長表彰表彰式を開催しました。また、共に生きる「福祉のまち伏見」の実現に向けて、「第4期伏見区地域福祉活動計画」の重点目標を念頭に、様々な地域福祉活動を推進しました。

〔 課 題 〕

「第4期 伏見区地域福祉活動計画」の中間年である次年度は、活動計画の進捗状況を注視しながら、適切な進行管理に基づいた事業遂行に努めます。

また、本会ホームページの更なる充実に努め、広く区民や福祉に携わる関係者等への広報強化を図ります。

(1) 第4期 伏見区地域福祉活動計画の推進

各学区社協重点プランの推進を目的に、学区社協会長・役員を対象とした学区社協活動懇談会を開催し、学区社協活動の現状について、ヒアリングや意見交換を行いました。また、困難な課題を抱えた地域住民に対する総合相談対応を強化するとともに、区内の各種ネットワーク・諸会議に参加し、多様な団体と連携し、地域を支える仕組みづくりの構築に努めました。

(2) 第70回 伏見区社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染状況を鑑み、次年度に開催延期しました。

区社協会長表彰受賞者の各区分代表者をお招きし、表彰式を開催しました。

【令和3年度 伏見区社会福祉協議会会長表彰 表彰式】

開催日	内 容
令和3年11月12日	会 場 京都市醍醐交流会館 第1・2会議室 参加者 29名 内 容 表彰状授与・感謝状贈呈

(3) 伏見区社協会長表彰の実施・市社協会長表彰等への推薦

開催日	内 容
令和3年10月21日	(1)第70回 伏見区社会福祉大会について (2)令和3年度 区社協会長表彰審査について

①区社協会長表彰並びに感謝状の贈呈

地域福祉協議会優良活動表彰 (学区社協役員等)	13名
〃 (民生委員・児童委員)	9名
〃 (老人福祉員)	6名
〃 (社会福祉施設役職員)	24名
ボランティア・市民活動表彰 (個人)	26名
〃 (グループ)	1団体
社会福祉活動協力者感謝状 (個人)	6名
〃 (グループ)	8団体



②厚生労働大臣表彰への推薦

なし

③全社協会長表彰への推薦

◇社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者 1名

④市長表彰への推薦

◇社会福祉事業団体関係功労者 1名

⑤市社協会長表彰への推薦

◇地域福祉活動表彰（社会福祉協議会）なし

◇社会福祉事業特別功労者表彰（社会福祉協議会役員） 8名

〃 （民生委員・児童委員） 46名

〃 （老人福祉員） 4名

◇社会福祉事業特別功労者表彰（社会福祉団体役職員） 1名

◇社会福祉活動協力者表彰（感謝状贈呈団体） 1名・1団体

（4）広報紙「伏見区社協だより」の発行

発行月	内 容
令和3年4月	内 容：賛助会員募集特別号「賛助会員への加入のお願い」 部 数：約66,000部

（5）ホームページの充実

本会ホームページをリニューアルし、講座・研修開催等の告知や、本会の発行した広報物の掲載や動画配信を行い、情報発信面を強化しました。

### 3) 基金運営事業

〔 成 果 〕

なし

〔 課 題 〕

混迷する社会情勢の中、今後も基金果実が増加する見通しは立たないため、基金原資の活用については、十分に検討を行う必要があります。

(1) 基金の造成

①老人福祉基金 22,560,000円 ②児童福祉基金 15,785,306円

(2) 基金果実の還元

①老人福祉基金 未実施 ②児童福祉基金 未実施

## 2. セーフティネット事業

### 1) 日常生活自立支援事業

#### 〔 成 果 〕

年度末の統計では契約者数 107 名（認知症高齢者 41 名、知的障害者 34 名、精神障害者 26 名、その他 6 名）となりました。

認知症や障害の症状が進行し、当事業の契約継続が困難になったケースについて、各行政担当課や京都市長寿すこやかセンター、その他の関係機関等とも協議し、スムーズに成年後見制度へ移行できるよう対応しました。

当事業の支援以外の困り事をお聞きすることも多く、その際には、各行政担当課や地域包括支援センター、障害者支援センター、介護サービス事業所等の関連機関とも連携しながら生活全般の課題解決に向けた支援へ展開しました。

また、引き続き、新型コロナウイルスの感染を防止するため、利用者や生活支援員、関係機関と情報共有を密にしながら支援を進めていきました。

#### 〔 課 題 〕

当事業だけで自己完結するのではなく、他の事業制度・インフォーマルサービス・地域の社会資源等を活用しながら、利用者の生活を支える地域の援助システムにつないでいけるよう、地域福祉の視点を重視しながら支援を展開していきます。

また、利用申請者の安定した契約に向け、利用待機者を前年度比 12%削減することはできましたが、引き続き生活支援員が不足していることから、生活支援員の養成・確保に努めてまいります。

### (1) 福祉サービスの利用援助と日常的金銭管理サービス等の実施

#### ①新規契約数および解約数

	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
新規契約数	9	4	5	3	21
解約数	13	2	4	5	24

#### ②契約状況

		相 談 区 分				合 計
		認知症	知的障害	精神障害	その他	
伏見本所・深草	年度当初	28	24	20	5	77
	年度末	25	23	21	2	71
醍 醐	年度当初	17	8	5	3	33
	年度末	16	11	5	4	36

合 計	年度当初	45	32	25	8	110
	年度末	41	34	26	6	107

※その他：認知症の診断や障害者手帳はないものの、判断力に不安がある方

(2) 利用申請者の安定した契約の実施

①利用待機状況

		伏見本所・ 深 草	醍 醐	合 計
待機者数	年度当初	21	3	24
	年度末	12	8	20

(3) 生活支援員の確保・養成

①登録・活動状況

		伏見本所・ 深 草	醍 醐	合 計
登録者数	年度当初	65	17	82
	年度末	54	15	69
活動者数	年度当初	35	9	44
	年度末	25	10	35

(4) 生活支援員養成研修会・交流会の開催

開 催 日	内 容
令和4年10月～12月 (書面開催)	(1)活動状況や活動に対する質問をアンケート形式で聞き取り (2)聞き取った内容を共有及び回答 (3)対象：活動中の生活支援員(41名)

(5) サービス担当者会議への参加と関係機関との連携

開 催 日	内 容
令和4年2月7日(月) (オンライン開催)	(1)「ふしみ障害・高齢ネット」で事業制度説明 (2)内容：日常生活自立支援事業・生活福祉資金制度について (3)対象：伏見区役所健康長寿推進課、伏見区内の地域包括支援センター及び障害者支援センター (4)質疑応答

## 2) 生活福祉資金貸付事業

### 〔 成 果 〕

依然として教育支援資金の相談や申請件数の占める割合が全体の約 8 割と高く、子どもや若者の生活困窮が注目されています。教育支援資金は進学を支えるセーフティネットの役割として、非常に有効な制度の一つとなっています。貸付後にも民生委員等の関係機関とも連携して償還状況を確認し、償還が難しくなっている世帯について、生活課題を把握した上で課題の改善・解決に向けた支援へ展開しました。

また、コロナウイルス感染拡大後は、生活困窮者からの相談を多く受けており、京都市社協が行うコロナウイルス特例貸付や、京都市が行う自立支援相談や各給付制度等へのつなぎを行いました。

### 〔 課 題 〕

福祉的な相談支援として、利用者の自立につながるよう、民生委員や京都府社会福祉協議会、その他の関係機関とさらに連携を強め、協働して対応していくことが必要です。事業についての理解を進めるために、適切な事業周知を行うことが求められています。

#### (1) 生活福祉資金貸付事業説明会

開催日	内 容
令和3年10月25日（月） （資料提供）	(1)栗陵中学校 保護者会で事業制度説明 (2)内容：教育支援資金貸付制度について (3)対象：栗陵中学校 保護者
令和4年2月7日（月） （オンライン開催）	(1)「ふしみ障害・高齢ネット」で事業説明 (2)内容：日常生活自立支援事業・生活福祉資金制度について (3)対象：伏見区役所健康長寿推進課、伏見区内の地域包括支援センター及び障害者支援センター (4)質疑応答

#### (2) 生活福祉資金 相談・貸付の状況

資金種別		面 談	申 請	決 定	貸 付
		件数	件数	件数	決定金額
総合支援資金		22	2	2	573,000
臨時特例つなぎ資金		—	—	—	—
福祉 資金	福祉費	196	47	51	14,690,000
	緊急小口資金	36	4	5	440,000

	生活復興資金	—	—	—	—
教育支援	教育支援費	523	122	115	45,925,000
	就学支度費	518	121	121	45,100,000
	不動産担保型生活資金	—	—	—	—
	その他	12	—	—	—
	合計	1,307	296	294	106,728,000

### 3. ボランティアセンター事業

#### 〔成果〕

伏見区ボランティアグループ連絡会（以下、連絡会）との連携強化については、連絡会と協力して発行している広報紙の配架先を拡大し、区役所でのパネル展示とパンフレットの配架を行うなど、活動の周知支援を行いました。

地域支え合い活動創出コーディネーターと共催でボランティア入門講座を開催し、ボランティアや支え合い活動と関連の深い“傾聴”について学びました。

伏見区災害ボランティアセンター設置運営訓練では小学生やその親を対象に、防災ポシェットの作成と災害に関するクイズの実施を企画・実施することで、幅広い世代が災害への関心を高める機会を創りました。

#### 〔課題〕

ボランティア活動に関心を寄せている区民への情報提供と現存しているボランティア団体の活動周知・人員募集、双方のコーディネートの一環として、連絡会の協力のもと、ボランティア入門講座の企画・実施を目指します。

また、ボランティア保険申請時などの機会を利用して、区内のボランティア団体の情報を収集し、活動を希望する方への相談対応に役立てます。

#### (1) ボランティア委員会の開催

開催に向けた調整を進めましたが、開催することができませんでした。

#### (2) ボランティアに関する相談及びコーディネート

実施体制	兼任職員3名体制で実施
開設日	窓口・電話相談：月～金（9時00分～17時00分） ※FAX・Eメールによる対応あり
年間件数	367件
内容	「ボランティアをしたい・してほしい」、地域活動の情報、講座情報、助成金等。これらの相談・コーディネートを実施。

①会議室の貸出

貸出件数	197件	延べ利用人数	2,485人
------	------	--------	--------

②備品の貸出

貸出件数	265件（印刷機器 117件 その他機材 148件）		
貸出物品	車イス、プロジェクター、スクリーン、コンパクトスピーカー、パソコン、印刷機、丁合機、紙折機		

(3) ボランティア保険の取扱いと加入促進

ボランティア保険	194団体・2,148名	行事保険	5,608名
----------	--------------	------	--------

(4) 地域における福祉教育・ボランティア学習推進事業の実施

①青少年の福祉体験事業「ユースアクション 2021」の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

②地域での「福祉教育」「ボランティア学習事業」の推進

開催日	内 容
令和3年10月8日	神川小学校「車いす体験授業」 【対象】神川小学校4年生（116名）
令和3年10月26日	東稜高校「車いす体験授業」 【対象】東稜高校2年生（33名）
令和3年11月10日	砂川小学校「認知症サポーター養成講座・車いす体験授業」 【対象】砂川小学校4年生（75名） 【共催】深草北部地域包括支援センター
令和3年12月8日	稲荷小学校「認知症サポーター養成講座・車いす体験授業」 【対象】稲荷小学校4年生（27名） 【共催】深草北部地域包括支援センター
令和3年12月15日	神川小学校「車いす体験授業・事後学習」 【対象】稲荷小学校4年生（116名） 【協力】京都市伏見障害者授産所

③地域支え合い活動創出事業と連携したボランティア講座の実施

開催日	内 容
令和3年 11月2日・30日	ボランティア入門講座 【内容】支え合い活動をはじめるにあたっての基礎知識 ーボランティア活動で大切なことは何？ー

令和4年 3月18日	「誰かの声に耳を傾ける」ボランティア入門講座 【内容】 ボランティアとは？ 傾聴ボランティアについて 活動へ参加するには 【講師】 NPO 法人 チャイルドライン京都 理事長 根本賢一 氏 事務局長 小松澄子 氏
---------------	---

(5) 伏見区災害ボランティアセンターの基盤整備

①伏見区総合防災訓練への参加

開催日	内 容
令和3年12月12日	【場所】 京都市立藤城小学校 【内容】 災害ボランティアセンター設置運営訓練 防災啓発活動（防災ポシエットの作成、災害ボラセン啓発紙芝居、○×クイズ）、京都市福祉ボランティアセンター発行物（パンフレット、クリアファイル）、携帯式ラジオの配布

(6) 伏見区ボランティアセンターだより「ボランティア F」の発行 【500部発行】

発行月	内 容
令和3年8月	地域でつながるオンライン会議研修会 実施報告
令和3年12月	伏見区ボランティアセンターよりお知らせ 伏見区ボランティアグループ連絡会秋の研修交流会 実施報告
令和4年3月	伏見区ボランティアセンターよりお知らせ こころのふれあいネットワーク作品展 パネル掲載報告 伏見区ボランティアセンターグループ連絡会 パンフレット (No.3) 更新報告 伏見区社会福祉協議会ホームページリニューアルのお知らせ

(7) 伏見区ボランティアグループ連絡会との連携強化

①運営連絡会の開催

開催日	内 容
令和3年4月20日	(1)令和2年度 事業報告及び会計決算報告について (2)令和3年度 事業計画（案）及び予算（案）について (3)部会編成について
令和3年7月20日	(1)オンライン研修について（事前説明） (2)部会からの近況報告 ※会議終了後、「オンライン研修会」を開催

令和3年8月17日	(1)「伏見のわ」vol.40の配布 (2)秋の研修交流会について (3)規約の確認
令和3年9月21日	(1)秋の研修交流会について (2)広報紙の配架先について (3)伏見区ボランティアセンターグループ登録加入申込書の確認
令和3年10月19日	(1)秋の研修交流会について (2)各ボランティアグループの紹介パネルについて (3)伏見区ボランティアグループ連絡会の紹介パンフレットについて (4)広報紙の配架先・配架担当者の確認
令和3年11月16日	(1)伏見区ボランティアグループ連絡会の紹介パンフレットについて (2)各ボランティアグループの紹介パネルについて (3)新年交流会について
令和4年1月18日	(1)伏見区こころの推進委員会作品展について ※会議終了後、新年役員交流会を実施
令和4年2月15日	(1)福祉ボランティア展について (2)「伏見の『わ』」について (3)来年度の事業計画について
令和4年3月15日	(1)令和4年度 事業計画について (2)令和3年度 事業報告について (3)令和4年度 代表・副代表・会計の選任について

※その他、広報部会、研修部会を必要に応じて随時開催

②ふれあいプラザ、センターまつり等の参加

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催されませんでした。

③懇談会、研修・交流事業

開催日	内 容
令和3年11月5日	秋の研修交流会(京都市動物園)

④伏見区ボランティアグループ連絡会だより「伏見のわ」発行 【500部発行】

発行月	内 容
令和3年8月 第40号	・伏見区ボランティアグループ連絡会 令和3年度役員から のご挨拶



	・活動報告（ぶどうの会・かたつむり）
令和3年12月 第41号	・ボランティア活動訪問記（花水木の会） ・伏見区社会福祉協議会 事務局長 挨拶
令和4年3月 第42号	・ボランティア活動訪問記（かたつむり）

## 4. 健康すこやか学級事業

### 〔 成 果 〕

新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き受けましたが、令和2年度に開催できなかった学区のうち、数学区が活動を再開されました。

健康すこやか学級活動交流会のクラフト講習会は、例年よりも難易度の高い題材をテーマに参集型で行いましたが、レク講習会は講習内容を撮影し、DVDとレク素材を各学区に送付する等、感染状況に応じた開催形態で実施しました。

### 〔 課 題 〕

感染状況に引き続き留意し、十分な感染防止対策を講じた上で、各学区で健康すこやか学級事業が円滑に取り組めるような支援を継続します。また、活動交流会は、アンケート内容を反映させ、各学区の担い手の声を活かした実施内容や時期などの調整を早々に行います。

### (1) 健康すこやか学級事業の支援

#### ①健康すこやか学級事業の実施回数

実施学区社会福祉協議会		令和3年度	令和2年度
深草	稲荷学区社会福祉協議会	2	0
	砂川学区社会福祉協議会	11	7
	深草学区社会福祉協議会	35	42
	藤森学区社会福祉協議会	25	28
	藤城学区社会福祉協議会	22	13
伏見	住吉学区社会福祉協議会	16	29
	板橋学区社会福祉協議会	30	23
	南浜学区社会福祉協議会	18	7
	桃山学区社会福祉協議会	16	13
	桃山東学区社会福祉協議会	0	0
	桃山南学区社会福祉協議会	0	0
	下鳥羽社会福祉協議会	30	26
	横大路学区社会福祉協議会	0	0

実施学区社会福祉協議会		令和3年度	令和2年度
	納所社会福祉協議会	14	18
	向島学区社会福祉協議会	2	2
	向島南学区社会福祉協議会	13	12
	二の丸北学区社会福祉協議会	7	4
	二ノ丸学区社会福祉協議会	2	3
	藤ノ木学区社会福祉協議会	0	0
	久我地区社会福祉協議会	36	24
	羽東師地区社会福祉協議会	2	0
	淀学区社会福祉協議会	19	9
	淀南学区社会福祉協議会	62	34
	醍醐	北醍醐学区社会福祉協議会	25
醍醐西学区社会福祉協議会		4	10
醍醐学区社会福祉協議会		1	8
池田学区社会福祉協議会		12	13
池田東学区社会福祉協議会		2	3
小栗栖学区社会福祉協議会		6	0
小栗栖宮山学区社会福祉協議会		15	17
日野学区社会福祉協議会		21	24
春日野学区社会福祉協議会		14	14
合計		462	412

(2) 健康すこやか学級事業活動助成の交付

健康すこやか学級事業開催28学区に対して、4,142,084円（準備経費を含む）を交付しました。

(3) 健康すこやか学級活動交流会の開催

開催日	場所	内容
令和3年11月9日	伏見社会福祉総合センター	クラフト講習会
令和3年11月9日	伏見社会福祉総合センター	クラフト講習会
令和3年11月16日	醍醐支所講堂	クラフト講習会
令和4年3月24日	(動画撮影・後日公開)	レクリエーション講習会

## 5. 地域支援事業

### 〔 成 果 〕

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中、ウイズコロナを意識した地域活動の推進について、創意工夫を図りながら、各学区社会福祉協議会において「福祉のまちづくり事業」を中心に、積極的に実施していただくことができました。

### 〔 課 題 〕

コロナ禍の中、学区社会福祉協議会の新たな取り組みや懇談会を通じてお聞きした運営や住民の困りごとなどを側面的に支援していくことが必要です。

また、「福祉のまちづくり事業」の助成要綱の改定に伴い、適切な運用を目指した説明を継続して行ってまいります。

#### (1) 学区社会福祉協議会会長会議の開催

開 催 日	内 容
令和3年6月4日	学区社会福祉協議会助成要綱の改定について

#### (2) 福祉のまちづくり事業の推進

事業項目			実施学区数
学 び あ う	研修・学習活動	主催研修の開催	9
		外部研修への参加	29
	広報・啓発活動	広報紙の発行	21
	実態把握・調査活動	住民懇談会等の実施	20
ふ れ あ う	交流・仲間づくり活動	地域交流活動	20
		居場所づくり・当事者サロン活動	19
支 え 合 う	在宅福祉サービス活動	寝具クリーニングサービス	15
		ふれあい配食サービス	6
		健康すこやか学級	28
特別助成 ※令和3年度のみ		見守り活動 等	32

(3) 学区社協活動助成の交付

① 基本助成	2,976,000 円	② 活動助成	6,628,714 円
③ 賛助会費配分	7,555,708 円	合計	17,160,422 円

(4) 学区重点プランの推進支援

学区社協活動懇談会において、学区重点プランを確認し、進捗状況のヒアリングを行いました。

(5) 学区が実施する研修会等への支援

認知症に関する講義を行なった後、地域に暮らす若年性認知症の方への見守り対応を依頼するといった実践的な研修企画等を行いました。

(6) 学区社協活動交流会の開催

開催に向けた調整を行いましたが、開催することができませんでした。

(7) 未設立学区における組織化への支援

学区	内容
竹田	地域ケア会議に参画し、顔の見える関係の構築を図っている。
久我の杜	民生児童委員協議会との協働を綿密に図っている。
石田	民生児童委員協議会との協働を綿密に図っている。

## 6. 生活支援事業

### 〔 成果 〕

地域あんしん支援員設置事業は、年度末の統計では本所の 2 ケースが終結となったほか、利用拒否の方が支援者に助けを求められるようになったり、就労から離れていた方がチャレンジ就労体験事業につながったりなど、支援の前進が見られました。

また今年度は、地域包括支援センター、障害者地域生活支援センターを中心に事業周知をおこなったことで、相談ケースが増加し実際の選定にもつながりました。

地域支え合い活動創出事業は、コロナ禍においても、連絡会議や実務者会議等を開催し、繋がりが途切れることのないよう関係機関との情報共有、相談等を行いました。また、動画配信を活用し、フォローアップ研修や居場所の情報交換会を行い、今後の活動に生かせる情報の提供を行いました。実際に、居場所の活動プログラムとして実践しますとの意見もいただき、活動の広がりにつながったと思います。

〔 課 題 〕

地域あんしん支援員設置事業の事業周知に関して、地域団体への周知も計画していましたが、個別ケースに関わる地域役員への個別周知にとどまりました。今後も地域団体への事業周知は引き続き検討しつつ、届いた相談をしっかりと受け止められる相談支援体制を、あんしん支援員を中心に事務局全体で作っていきたいと考えています。

一方、地域支え合い活動創出事業は、参集型の情報交換会が中止となり、活動者同士の意見交換を行う時間を作ることができませんでした。お互いの活動について知ることのできる機会の創出を行っていく必要性があります。

(1) 地域あんしん支援員設置事業への協力

①新規選定および終結件数

	伏見本所	深草	醍醐	合計
新規選定	2	4	2	8
終結	2	0	0	2

②支援状況

	伏見本所	深草	醍醐	合計
年度当初	7 (経過観察 1 件含む)	5 (予備調査 1 件含む)	5	17
年度末	9 (経過観察 1 件、 予備調査 2 件含む)	9 (予備調査 4 件含む)	7 (経過観察 1 件、 予備調査 1 件含む)	25

③選定会議

保健福祉センターを含む関係機関、区社協等から支援候補となるケースを挙げ、支援の必要性や優先度、寄り添い支援の有効性を考慮し、ケースを選定しました。

支援員の増員に伴い年度当初はケースの空きがある状況でしたが、今年度は地域包括支援センター、障害者地域生活支援センターを中心に事業周知をおこなったことで、相談ケースが増加し実際の選定にもつながりました。

伏見本所	令和 4 年 1 月 14 日(候補 2 ケースのうち、2 ケース選定)
深草	令和 3 年 11 月 26 日(候補 4 ケースのうち、4 ケース選定)
醍醐	令和 3 年 5 月 20 日(候補 1 ケースのうち、1 ケース選定) 令和 3 年 12 月 23 日(候補 1 ケースのうち、1 ケース選定)

④支援会議

支援ケースについて、解決すべき課題の確認、関係機関の役割分担の明確化、支援方針の決定を目的に、支援会議をおこないました。

伏見 本所	令和3年10月22日(支援方針の見直し2ケース)
深草	令和3年11月26日(支援方針の決定1ケース)
醍醐	令和3年12月23日(支援方針の決定1ケース)

#### ⑤定期支援会議

全ケースについて支援の進捗状況を確認し、支援が膠着しているケースについては、支援方針の見直し、終結、経過観察の判断をおこないました。

伏見 本所	令和3年10月(書面開催) (支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、経過観察の確認、終結の確認) 令和4年1月14日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、経過観察の確認)
深草	令和3年11月26日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し)
醍醐	令和3年5月20日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し)

#### ⑥支援ケースの概要

	対象者	世帯状況	課題	支援期間	終結の有無
伏見 本所	30代女性	2人世帯(母)	不衛生な生活環境 引きこもり その他(新しい生活環境の安定)	4年7ヶ月	継続
	50代男性	単身	不衛生な生活環境	4年7ヶ月	経過観察
	30代女性	4人世帯 (両親、弟)	不衛生な生活環境 就労 引きこもり	4年7ヶ月 (世帯間で 対象者変更)	継続
	50代女性	3人世帯 (母、弟)	引きこもり	3年8ヶ月	継続
	70代男性	単身	不衛生な生活環境 利用拒否 孤立	2年8ヶ月	継続
	30代男性	2人世帯 (父)	就労 孤立	1年8ヶ月	終結
	20代男性	2人世帯 (妹)	就労 孤立 その他(金銭管理)	1年7ヶ月	継続
	50代女性	単身	孤立	1年1ヶ月	終結

	40代男性	単身	利用拒否 孤立 その他(金銭管理)	1年5ヶ月	経過観察
	30代女性	2人世帯 (母)	予備調査中	2ヶ月	継続
	50代女性	単身	予備調査中	2ヶ月	継続
深草	50代女性	4人世帯 (子ども3人)	不衛生な生活環境 複合多問題	4年7ヶ月	継続
	30代男性	2人世帯 (母)	引きこもり	4年1ヶ月	継続
	40代男性	単身	就労支援 引きこもり	2年8ヶ月	継続
	30代男性	2人世帯 (母)	利用拒否 引きこもり	1年8ヶ月	継続
	70代男性	単身	ごみ堆積 利用拒否 その他複合多問題	1年	継続
	80代女性	単身	予備調査中	4ヶ月	継続
	80代女性	単身	予備調査中	4ヶ月	継続
	80代女性	単身	予備調査中	4ヶ月	継続
	50代女性	2人世帯 (娘)	予備調査中	4ヶ月	継続
醍醐	40代女性	単身	引きこもり 不衛生な生活環境	7年6ヶ月	継続
	20代女性	3人世帯 (母・弟)	利用拒否 就労	3年8ヵ月	経過観察
	10代男性	3人世帯 (母・姉)	孤立 複合多問題	2年5ヶ月	継続
	30代男性	3人世帯 (両親)	就労 引きこもり	1年8ヶ月	継続
	40代男性	単身	就労 引きこもり	1年6ヶ月	継続
	50代男性	単身	利用拒否 生活困窮	10ヶ月	継続
	70代女性	単身	予備調査中	3ヶ月	継続

(2) 地域支え合い活動創出事業への協力

①生活支援サービス創出の企画・支援

地域支え合い活動調整会議（連絡会議）の運営	
<p><b>説明</b> 地域住民、関係機関、福祉事業所、専門職集団、医療機関、区役所担当部局の代表にご参加いただき、地域支え合い活動創出コーディネーターの事業を説明・報告する会議です。ここで出された意見を参考に、事業の運営、生活課題の選定を行います。</p>	
深草	<p>第1回：令和3年6月17日（木）*コロナウイルス感染拡大の為、書面開催                  第2回：令和3年11月18日（木）                  第3回：令和3年3月17日（木）*コロナウイルス感染拡大の為、書面開催</p>
本所	<p>第1回：令和3年6月18日（金）*コロナウイルス感染拡大の為、書面開催                  第2回：令和3年11月11日（木）</p>
醍醐	<p>第1回：令和3年6月23日（水）                  第2回：令和4年3月2日（水）*コロナウイルス感染拡大の為、書面開催</p>

②地域支え合い活動調整会議（実務者会議）の運営

<p><b>説明</b> 連絡会議や地域ケア会議等で出た意見を基に、区・支所ごとに「生活課題」を選定し、具体的な解決に取り組みます。</p>	
深草	<p>課題：商業場所まで距離があり高齢者が買物へ出かけづらい。                  感染症拡大の影響により外出機会が減りきっかけがない。                  取組：購入した商品を届ける「ふかくさおとどけ便」を地域団体や関係機関、学校と協働し仕組みを整えた。また、商店街とも連携して朝市を企画、外出機会を創出するとともに、朝市で出会う人たちが交流できる働きかけを行った。</p>
本所	<p>取組①：少子高齢化、人口減少の進む団地に生活する障害者や高齢者を対象に、外に出るきっかけとなることや住民自身が得意なことで協力し活躍できる機会として団地カフェの取組（行事）を創出した。                  取組②：高齢者の生活支援サービス【通所型】が不足している地域への高齢者の新たな居場所創出を目指し、関係機関と地域住民が連携しコロナ禍でも継続して協議を行った。</p>
醍醐	<p>取組①：住民同士の交流・外出の機会の提供、地域の社会資源の見える化を目的に「醍醐ふれあいトレジャーウォーキング」を開催。イベント参加を通じて住民同士の繋がり、コース記載の施設の利用や活動参加に繋がった。                  取組②：「醍醐ふれあい・支え合いマップ第2弾」を作製し、高齢分野の地域資源について可視化することができた。</p>



### ③生活支援の担い手養成

各区共通 地域支え合い活動入門講座	
深草	第1回：令和4年3月18日(金)
本所	第1回：令和3年7月27日(火) 第2回：令和3年11月30日(火) 第3回：令和4年1月24日(月)
醍醐	第1回：令和3年11月2日(火)

区独自 地域支え合い活動入門講座「フォローアップ研修」
第1回（本所・深草・醍醐管内） 日時 令和4年2月5日（土）14:00～15:30 場所 京エコロジーセンター 内容 「誰かの声に耳を傾ける」ボランティア入門講座 講師：特定非営利活動法人チャイルドライン京都 <参加団体> 地域支え合い活動入門講座受講生、地域住民、 ※今年度は年1回のフォローアップ研修を企画、コロナウイルス感染症拡大のため、参集せずに動画配信にて開催。

### ④関係者のネットワーク化

#### 1) 情報交換会の開催

伏見区地域支え合い活動の推進に関する高齢分野等の情報交換会の開催
第1回（深草支所管内） 日時 令和3年10月20日（水）14:00～15:30 場所 京エコロジーセンター シアタールーム 内容 ①警察より詐欺に関する注意喚起②コロナ禍における課題等の共有③コロナ禍のサロン運営に関する工夫、助成金などの情報提供 <参加団体>生活支援サービス【通所型】提供団体9団体
第2回（本所・深草管内） 日時 令和4年1月31日（月）14:00～15:30 場所 京都市呉竹文化センター（伏見区京町南七丁目35-1） 内容 「簡単にできるレクリエーション講習」 ○「レクでいきいき！パート5」を活用したレクリエーションの説明・実践 講師：京都市長寿すこやかセンター ○ 簡単にできる脳トレ・体操 講師：京都市深草・醍醐地域介護予防推進センター <参加団体> 学区社会福祉協議会すこやか学級担当者、 高齢者の居場所活動団体実務担当者、

※コロナウイルス感染拡大のため、動画配信に切り替えての実施

第1回（醍醐管内）

日時 令和4年2月3日（木）14:00～15:30

場所 醍醐消防分署講堂（伏見区醍醐大構町28）

内容 「簡単にできるレクリエーション講習」

○「レクでいきいき！パート5」を活用したレクリエーションの説明・実践

講師：京都市長寿すこやかセンター

○簡単にできる脳トレ・体操

講師：京都市深草・醍醐地域介護予防推進センター

<参加団体> 学区社会福祉協議会すこやか学級担当者、

高齢者の居場所活動団体実務担当者、

※コロナウイルス感染拡大のため、動画配信に切り替えての実施

2) 地域共生社会を見据えた各種会議への参画

多世代多分野における情報交流の場「ふかくしゃべり場」の実施

日時 月1回第3水曜 15:00～16:00 （年12回実施）

場所 ふかふか家

参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体

地域住民のだれもが外出しやすいまちづくりを目指したプロジェクト「とまり木ベンチ休憩所実行委員会」への参画

日時 月1回午後 （年5回出席）

場所 墨染まちとくらしセンター

参加者 藤森・藤城学区各種団体、深草南部地域包括支援センター等

高齢者、障害者をはじめとする外出しにくい方々が参加できる取組創出のネットワーク会議「団地カフェ実行委員会」の開催

日時 月1回第3金曜 10:00～11:00（実行委員会：年6回実施）

場所 むかちゅうセンター（向島中学校跡地）

参加者 地域住民、愛隣館、あじさい苑、向島地域包括支援センター、京都府リハビリテーションセンター、

[団地カフェの開催 令和3年12月6日（月）11:00～14:00 参加者約80名]

高齢者の新たな居場所創出を目指すネットワーク会議「みなネット」の共同運営

日時 月1回第4木曜 14:00～15:30 （年12回出席）

場所 伏見区社協・オンライン（zoom）

参加者 南浜学区各種団体、介護保険事業所、下鳥羽地域包括支援センター等

⑤地域のニーズと資源の見える化

1) 地域アセスメント基礎情報シートの更新

- 2) 健康すこやか学級研修会において再開状況のヒアリング
- 3) 居場所運営団体に向けて居場所再開時の支援情報提供
- 4) 関係機関と連携し事例集やつながりあえるリーフレット、マップの作成
  - ・高齢者の居場所 243Ebasyo（ふしみの居場所）本所圏域版 ホームページ掲載
  - <連携先> 伏見区本所地域包括支援センター保健師看護師等専門職部会  
伏見地域介護予防推進センター
  - ・自宅で簡単に取り組める体操、脳トレ、クラフト付きリーフレット作成
  - <連携先> 伏見区本所地域包括支援センター保健師看護師等専門職部会  
伏見地域介護予防推進センター
  - ・醍醐ふれあい・支え合いマップ第2弾作成
  - <連携先> 醍醐支所健康長寿推進課、  
醍醐北部地域包括支援センター、醍醐南部地域包括支援センター、  
深草・醍醐地域介護予防推進センター、醍醐いきいき市民活動センター

⑥その他の取り組み

- 1) 地域の居場所やサロンでの研修実施、情報提供
- 2) 中学校跡地を活用した、誰もが集える交流スペースを開設
- 3) 京都生協との情報交換の実施

(3) チャレンジ就労体験事業の推進<市社協連携>

種別	受入施設
障 害	福祉工房 P&P 就労継続支援事業所 キャッチアップ 京都市ふしみ学園 京都市伏見障害者授産所 愛隣デイサービスセンター 京都フレンドリーハウス醍醐作業所 京都市だいが学園 モーツアルト七瀬川つつみ
高 齢	特別養護老人ホーム フジの園 特別養護老人ホーム みやびのその デイサービスセンターみやびのその ケアハウス プラスしこうえん 高齢者福祉施設 久我の杜 特別養護老人ホーム 同和園 伏見老人デイサービスセンター 醍醐老人デイサービスセンター 伏見老人福祉センター 醍醐老人福祉センター

児童	春日野児童館 醍醐中央児童館	藤森竹田児童館 辰巳児童館	
その他	京都生活協同組合 京都生活協同組合 伏見中央図書館 醍醐中央図書館	コープ桃山店 コープ醍醐石田店	
	深草	本所	醍醐
利用者数	6	31	5

(4) 企業との連携による見守り活動<市社協連携>

対 応 日	内 容
令和3年8月30日	京都生協からの通報 入院中であることを確認し、対応完了
令和3年10月27日	京都生協からの通報 入院中であることを確認し、対応完了
令和4年1月28日	京都生協からの通報 自宅で亡くなられていたのを発見した
令和4年2月1日	京都生協からの通報 入院中であることを確認し、対応完了
令和4年2月1日	京都生協からの通報 自宅で亡くなられていたことを確認した

(5) よりそい支援員設置事業への協力

区役所・支所が主催する「ひきこもり支援調整会議」において、よりそい支援員が担当する事例検討への参加や、区内の社会資源に関する情報提供を行いました。

(6) オレンジカフェ伏見（認知症支援事業）の開催

新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催することができませんでした。

## 7. 地域福祉ネットワーク事業

### 〔 成 果 〕

地域福祉推進委員会事業では、社会福祉法人の地域公益的活動の調査活動を行い、その結果をもとに、オンライン形式で地域福祉推進シンポジウムを開催し、区内の先進事例を発信し、意見交換することができました。また、推進委員会のホームページを開設し、相談窓口や社会資源情報といった福祉に関する情報発信を行いました。コロナ禍により、中止・延期された諸会議も数多くありましたが、保健、医療、教育等の多様な分野における会議等に積極的に参加し、ネットワーク強化に努めました。

〔 課 題 〕

コロナ禍の継続を想定し、伏見区地域福祉推進委員会事業を中心に、オンラインを活用した情報交流の促進等、開催形態の柔軟な対応等を図ることで、事業実施を積極的に追求します。さらに、関係機関・団体の連絡会議等への参加や連携を通じて、区内の地域福祉課題を収集し、その解決を図るために、本会事業や地域福祉推進委員会の取り組みにも反映させることで、地域福祉の推進を図ります。

(1) 伏見区地域福祉推進委員会の開催

①委員会の開催

第1回 伏見区地域福祉推進委員会	
開催日	令和3年6月22日(火)
内 容	(1) 令和2年度事業報告と決算について (2) 令和3年度事業計画と予算について
会 場	京都市醍醐交流会館
第2回 伏見区地域福祉推進委員会	
開催日	令和4年3月29日(火)
内 容	(1) 令和4年度 事業計画(案)・予算(案)について
備 考	書面審議

②地域福祉推進シンポジウムの開催

開催日	令和4年1月26日(水)
事業名	令和3年度 伏見区地域福祉推進シンポジウム
内容等	<p>テーマ：これからの地域における公益的な活動を考える ～コロナと共存する支援のかたち～</p> <p>【報告】公益活動アンケートの集計結果 報告者：伏見区社会福祉協議会 事務局</p> <p>【発表】コロナ禍における公益活動の実情と課題 発表者：社会福祉法人 京都老人福祉協会 上田 充子 氏 社会福祉法人 ヤマト福祉会 浅田 逸規 氏 社会福祉法人 イエス団 平田 義 氏</p> <p>【意見交換】新たな生活様式に合わせた社会福祉法人の公益活動のあり方 進 行：伏見区社会福祉協議会 事務局 登壇者：社会福祉法人 京都老人福祉協会 上田 充子 氏 社会福祉法人 ヤマト福祉会 浅田 逸規 氏 社会福祉法人 イエス団 平田 義 氏</p>
会 場	オンライン配信
参加者	学区社協役員、民生児童委員、関係機関 他36人

③相談窓口や社会資源情報の収集・整理と発信

地域福祉推進委員会福祉情報ページを作成し、高齢・児童・障害区分別に、相談窓口や社会資源情報等の福祉に関する情報を掲載しました。

④社会福祉施設の地域公益的取組の把握・発信等

令和3年8月2日(月)～8月20日(金)の期間、本会3号会員「公私社会福祉事業者」139施設を対象に、アンケート調査を実施し、調査報告書を取りまとめ、地域福祉推進委員会シンポジウムで報告するとともに、本会ホームページに掲載しました。

⑤多様な主体の連携・協働によるプラットフォームの構築

伏見区地域福祉推進委員会構成団体を中核に、多様な活動団体との連携・協働によるプラットフォームの構築を目指しましたが、実現には至りませんでした。

(2) 南部・東部障害者地域自立支援協議会への参画

- ①運営会議・全体会議への参加
- ②地域懇談会の協力(東部障害者地域自立支援協議会)
- ③災害対策部会の開催
- ④事務局会議等の開催

(3) 関係団体・施設の連絡会議等への参加・連携

- ①伏見・深草・醍醐地域包括支援センター運営協議会および運営会議への参画
- ②地域包括支援センターとの連携および地域ケア会議への参加
- ③伏見地域、深草・醍醐地域介護予防推進センターとの連携強化
- ④伏見・深草子どもネットワークおよび醍醐子育て支援ネットワークへの参加
- ⑤伏見区こころの健康ふれあいネットワークへの参画

(4) 子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業への協力

開催日	令和4年2月14日(月)
事業名	令和3年度 伏見区子どもの居場所づくり研修交流会
内容等	第1部「居場所による子どもの変化とコロナ禍における取り組み」 (1)講師(ファシリテーター) 特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば理事長 村井琢哉氏 (2)登壇団体 藤の木子どもキッチン・藤の木子ども食堂 藤ノ木学区民生児童委員協議会会長 山内忠敏氏 子ども未来食堂 洛和食”ふかくさ亭” 深草学区社会福祉協議会会長 美濃敦子氏 小栗栖宮山子どもの居場所 あおぞら

	小栗栖宮山学区社会福祉協議会事務局 木下久美子 氏 第2部「居場所づくりのお悩み相談」 特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば理事長 村井琢哉 氏 本会職員
会 場	オンライン配信
参加者	子どもの居場所運営団体、学区社協役員、関係機関 他 51人

## 8. 共同募金配分金事業

### 〔 成 果 〕

関係団体やボランティアグループへの助成金の使途や事業の効果等を検証し、コロナ禍における活動継続の為に必要な支援を行う事ができました。

### 〔 課 題 〕

感染症拡大とともに関係団体の事業の縮小も余儀なくされている中、募金額も激減しています。助成金交付団体へ赤い羽根共同募金の意義を伝え、引き続き共同募金配分金を財源とする事業であることを周知する等、啓発活動の充実が必要です。

#### (1) 地域福祉・ボランティア活動助成審査会の開催

参集型の審査会開催が困難なため、審査会委員へ持ち回り、審査いただきました。

#### (2) 学区社協活動助成の交付

①学び合う活動（広報・啓発・懇談会等）	722,000 円
②ふれあう活動（地域交流活動・居場所サロン）	1,020,000 円
③支えあう活動（寝具クリーニング・配食サービス）	744,630 円

#### (3) 社会福祉団体助成基準に基づく活動助成の交付

#### (4) ボランティア・市民活動グループへの活動助成の交付

山科少年補導委員会（醍醐地区）	伏見区交通安全推進委員会連合会	伏見区老人クラブ連合会
伏見区身体障害者団体連合会	伏見区母子寡婦福祉会	京都手をつなぐ育成会伏見支部
伏見区遺族連合会	伏見少年補導委員会	伏見地区保護司会
伏見保育士会	醍醐保育士会	伏見区地域女性連合会
伏見地区更生保護女性会		
花水木の会	ねこの手	ぶどうの会
醍醐朗読ボランティアの会 ひびき	手話サークル ともだち	京都 YMCA こおろぎ
要約筆記サークル かたつむり	点訳サークルてんてん	

助成総額 858,000 円

## 社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会

---

〒612-8318

京都市伏見区紙子屋町 544 番地

京都市伏見区社会福祉総合センター2F

T E L 075 (603) 1287

075 (604) 6541〔相談専用〕

F A X 075 (603) 4532

醍醐分室

〒601-1375

京都市伏見区醍醐高畑町 30-1

京都市醍醐老人福祉センター内

T E L 075 (575) 2070

F A X 075 (573) 8314